

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

計画の名称：宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進

計画の期間：平成25年度～平成29年度(5箇年)

事業主体名：宮城県，石巻市，塩竈市，気仙沼市，白石市，名取市，角田市，多賀城市，岩沼市，登米市，栗原市，東松島市，大崎市，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，丸森町，亘理町，山元町，松島町，利府町，大和町，大郷町，富谷町，大衡村，加美町，涌谷町，美里町，南三陸町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性が図られている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性が確保されている | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)要素事業の目的を適切に表現している | ✓ |
| 2)数値目標や定量的指標により適切に設定している | ✓ |
| | |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)達成が見込まれる評価指標になっている | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業の整合性が確保されている | ✓ |
| 3)要素事業と計画区域との整合性が確保されている | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)早期の事業効果が期待できる | ✓ |
| | |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度が十分である | ✓ |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている | ✓ |
| | |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:宮城県(仙塩流域下水道)

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|---|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:宮城県(阿武隈川下流域下水道)

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:宮城県(鳴瀬川流域下水道)

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:宮城県(吉田川流域下水道)

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:宮城県(北上川下流流域下水道)

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:宮城県(迫川流域下水道)

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 宮城県(北上川下流東部流域下水道)

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:石巻市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | — |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:塩竈市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 気仙沼市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | — |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | — |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | — |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | — |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:白石市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:名取市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | ✓ |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 角田市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|---|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が, 下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている, もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し, 全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている, もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において, 長寿命化計画が既に策定されている, もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了, もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け, もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | ✓ |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後, 関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 多賀城市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | ✓ |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:岩沼市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 登米市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|---|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が, 下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている, もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し, 全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている, もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において, 長寿命化計画が既に策定されている, もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了, もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け, もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後, 関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 栗原市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が、下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている、もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し、全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている、もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において、長寿命化計画が既に策定されている、もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了、もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け、もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後、関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 東松島市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | — |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | — |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:大崎市

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | ✓ |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:七ヶ宿町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:大河原町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 村田町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:柴田町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | ✓ |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:川崎町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:丸森町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 亘理町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | ✓ |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 山元町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|---|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が, 下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている, もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し, 全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている, もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において, 長寿命化計画が既に策定されている, もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了, もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け, もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後, 関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:松島町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:利府町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:大和町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:大郷町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 富谷町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|---|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が, 下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている, もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し, 全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている, もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において, 長寿命化計画が既に策定されている, もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了, もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け, もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後, 関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:大衡村

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:加美町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名: 涌谷町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|---|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が, 下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている, もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し, 全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている, もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において, 長寿命化計画が既に策定されている, もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了, もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け, もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | ✓ |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後, 関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:美里町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | — |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | — |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | — |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | — |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |

【事前評価】社会資本総合整備計画チェックシート

～防災・安全社会資本整備交付金～

(宮城県における下水道の防災・安全を実現するための整備推進)

市町村名:南三陸町

チェック欄

| I. 評価指標の妥当性 | |
|--|---|
| ①基本方針・上位計画等との適合性 | |
| 1)上位計画等(生活排水処理基本構想・流域別下水道整備総合計画)との整合性 | |
| ●提出された要素事業が,下水道事業で整備される区域として位置付けがなされている | — |
| 2)下水道法事業計画等との整合性 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ②評価指標の妥当性 | |
| 1)評価指標項目の妥当性 | |
| ●評価指標の項目が要素事業の目的を適切に表現しているか(県下水道課対応) | — |
| 2)評価指標の妥当性 | |
| ●数値目標や定量的指標により適切に設定されているか(県下水道課対応) | — |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③評価指標と要素事業の整合性 | |
| 1)評価指標の設定 | |
| ●整備計画期間内の達成が見込まれる評価指標となっているか | ✓ |
| 2)評価指標と要素事業内容の整合性 | |
| ●要素事業内容と評価指標の項目が一致し,全要素事業に対して網羅されているか ※未普及対策(効率的な事業実施のための計画策定を含む)→下水道処理人口普及率・浸水対策→都市浸水対策達成率・長寿命化対策(改築)→長寿命化計画達成率(処理場・ポンプ場・管渠(管渠)・管渠(MP))・助成金制度→水洗化達成率 | ✓ |
| 3)要素事業内容と計画区域との整合性 | |
| ●参考様式2と参考様式3で整合性が図られているか | ✓ |
| ④事業の効果 | |
| 1)事業効果の妥当性 | |
| ●早期の事業効果が期待できるか | ✓ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤円滑な事業執行の環境 | |
| 1)要素事業の熟度 | |
| ●提出された要素事業が下水道法事業計画等に位置付けられている,もしくは計画的な下水道法事業計画等の変更を予定している | ✓ |
| ●長寿命化対策(改築事業)において,長寿命化計画が既に策定されている,もしくは計画的な長寿命化計画の策定を予定している ※:長寿命化計画策定のための調査・委託については「交付金対象」 | ✓ |
| ●新規で用地取得を必要とする場合は用地取得が完了,もしくは計画的な取得の目処が立っている(都市計画決定・都市計画法事業認可への位置付け,もしくは計画的な位置付けを予定している) ※都市計画決定・都市計画法事業認可については「交付金対象外(市町村単独費対応)」 | — |
| 2)整備計画に記載された要素事業に関連する地方公共団体等の理解 | |
| ●東北地方整備局との事前協議後,関連市町村の回答文書が添付されているか(県下水道課対応) | — |